

■12月11日

羽田—中国線増便枠組み、来年夏季スケジュールも策定未定、中国当局の手続き進まず

日刊航空によると、今年3月末から就航できる枠組みが設定された羽田—広州線と羽田—上海・浦東線、来年3月末からの夏季スケジュールでも就航開始が見送られる公算が強くなっていることがわかった。加えて、同夏季スケジュールから増便される予定だった羽田—北京線も現時点で実現のメドが立っていない。中国当局による現地発着枠の調整やダイヤの認可が滞っており、全日空や日本航空は羽田—中国線の就航・増便をカウントせずに来年度事業計画を策定しつつあるようだ。

一方、中国民間航空総局も、同羽田線を運航する自国航空企業の指定および羽田空港発着枠の権益配分を行っていないもよう。中国当局側の国内手続きが進んでいない理由は明らかになっていない。

(日刊航空)12/11

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-1211-03.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-1211-03.pdf>)

ジェットスター・ジャパン(LCC)、成田—高松線就航、潜在需要掘り起こしに自信

ジェットスター・ジャパンは10日、成田—高松線の就航を開始した。使用機材はエアバスA320型機、初便の成田からは搭乗率81%、折り返し便は90%だった。料金は片道4590~2万6990円で、1日2往復を運航する。同社の国内線では14路線目。

就航に先立ち、同社の鈴木みゆき社長が9日、高松市内で講演し、「高松線を通じて地域経済の活性化に貢献し、香川県と共存共栄したい」と決意を語った。

四国新聞によると、鈴木社長は、開設の理由について、就航を望む声が多かったことを挙げ、「初便は満席で、以降も順調に予約が入っている。観光地としての魅力もあり、訪れる場所としても潜在需要は高い」と説明した。LCC就航で既存路線の利用減が懸念されることに関しては、成田空港の国内線旅客数のデータを示し、既存路線に影響がないことを強調。低価格路線が加わることで、一人旅や友人・家族の元への訪問など新たな需要が掘り起こせるとし、「香川でもホテルや公共交通機関の利用増など幅広い経済効果に寄与できる」と話した。

(四国新聞)12/10

http://www.shikoku-np.co.jp/kagawa_news/economy/20131210000124 (-> http://www.shikoku-np.co.jp/kagawa_news/economy/20131210000124)
http://www.shikoku-np.co.jp/national/life_topic/20131210000296 (-> http://www.shikoku-np.co.jp/national/life_topic/20131210000296)

(読売新聞)12/11

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/kagawa/news/20131210-OYT8T01317.htm> (-> <http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/kagawa/news/20131210-OYT8T01317.htm>)

香港エクスプレス(LCC)、羽田・関空—香港線、平均搭乗率90%超、14年度中日本での新規路線開設を計画

香港エクスプレス航空(UO)の羽田・関空／香港線が好調だ。同社の日本地区総代理店を務めるエア・システムは、両路線ともに搭乗率は平均90%以上と好調に推移。羽田線については日本を金曜日深夜に出発し、日曜日早朝に帰国する「0泊2日」旅行をする乗客もあり、新規需要が開拓できていると見る。

トラベルビジョンによると、現在エアバスA320型機を5機保有しており、2014年はさらに5機から6機増やす計画で、2月から順次新機材を受領する。来日中の、ジェネラル・マネージャーセールスのジュディー・ホー氏は機材の増加に伴い、14年中に就航地を17から20都市まで拡大し、日本では1、2都市に新規就航したいと話した。

現在の日本路線のインバウンドとアウトバウンドの割合は6:4。ホー氏は「我々の調査では香港の人々の日本への旅行意欲は大変高いと結果が出た。年に数回訪問するケースもある」と、香港の人々の訪日意欲の高さを強調。「新路線は確実に開設する」と明言した。就航先はまだ明かせないとしながらも「数ヶ月中には発表できる」という。また、羽田線の増便については「需要があれば検討していく」とした。

(トラベルビジョン)12/10

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59875> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59875>)

神戸空港、11月、搭乗者数、前年同月比6.8%減

神戸市は10日、11月の神戸空港の搭乗者数が前年同月比6・8%減の19万1818人だったと発表した。全体の搭乗率は68・6%。運行便数が前年同月から1往復減の26往復となったことに加え、機体の小型化などから5カ月連続で前年実績を下回った。

路線別では茨城が前年同月比6・4%増えたが、1往復に減った鹿児島が42・1%減、新千歳が18・2%減、那覇が3・2%減などと低迷した。羽田は0・5%の微減だった。搭乗率では、7月に就航した石垣線は20・3%と低迷した。

(神戸新聞)12/11

<http://www.kobe-np.co.jp/news/keizai/201312/0006562292.shtml> (-> <http://www.kobe-np.co.jp/news/keizai/201312/0006562292.shtml>)

(神戸市 HP)

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/access/airport/img/HP25.11.pdf> (->

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/access/airport/img/HP25.11.pdf>)

* 出典: 神戸市

路線別

(平成25年度)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
新千歳	旅客数	27,919	37,234	38,231	33,953	34,575	33,526	37,833	27,841
	前年比(%)	95.9%	110.9%	105.3%	91.2%	79.3%	76.2%	88.0%	81.8%
	提供座席数	50,730	53,960	50,111	40,678	37,510	36,603	47,694	37,762
	利用率(%)	55.0%	69.0%	76.3%	83.5%	92.2%	91.6%	79.3%	73.7%
茨城	旅客数	11,660	11,614	10,438	11,001	16,539	11,425	10,816	14,684
	前年比(%)	99.5%	103.2%	105.2%	106.1%	121.9%	98.6%	84.2%	106.4%
	提供座席数	21,240	21,948	21,240	21,948	21,948	20,532	21,594	21,240
	利用率(%)	54.9%	52.9%	49.1%	50.1%	75.4%	55.6%	50.1%	69.1%
羽田	旅客数	62,340	65,140	63,893	69,478	77,947	70,269	72,178	74,942
	前年比(%)	102.2%	93.0%	98.5%	100.2%	102.5%	96.8%	95.5%	99.5%
	提供座席数	92,353	96,290	102,041	102,102	99,328	101,794	103,427	95,114
	利用率(%)	67.5%	67.6%	62.6%	68.0%	78.5%	69.0%	69.8%	78.8%
長崎	旅客数	25,796	26,714	23,097	27,493	34,827	28,340	27,521	29,301
	前年比(%)	92.4%	99.8%	107.1%	107.7%	105.4%	87.9%	82.7%	92.0%
	提供座席数	42,480	43,896	42,126	43,896	43,896	42,480	43,896	42,480
	利用率(%)	60.7%	60.9%	54.8%	62.6%	79.3%	66.7%	62.7%	69.0%
鹿児島	旅客数	9,465	10,603	8,681	9,140	14,407	9,875	8,801	6,427
	前年比(%)	78.9%	86.3%	94.9%	89.1%	103.2%	77.1%	76.7%	57.9%
	提供座席数	21,063	21,948	21,063	21,948	21,948	21,240	21,948	12,036
	利用率(%)	44.9%	48.3%	41.2%	41.6%	65.6%	46.5%	40.1%	53.4%
那覇	旅客数	50,402	48,422	35,945	36,404	43,579	43,159	31,744	36,972
	前年比(%)	124.9%	125.2%	119.3%	92.2%	101.9%	93.9%	79.1%	96.8%
	提供座席数	80,460	82,766	58,860	60,894	65,286	63,180	62,307	62,832
	利用率(%)	62.6%	58.5%	61.1%	59.8%	66.8%	68.3%	50.9%	58.8%
石垣	旅客数	-	-	-	3,335	6,681	5,690	2,495	1,651
	前年比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
	提供座席数	-	-	-	7,080	10,620	10,620	9,558	8,142
	利用率(%)	-	-	-	47.1%	62.9%	53.6%	26.1%	20.3%
合計	旅客数	187,582	199,727	180,285	190,804	228,555	202,284	191,388	191,818
	前年比(%)	98.3%	99.6%	101.7%	96.3%	98.7%	89.3%	87.3%	93.2%
	提供座席数	308,326	320,808	295,441	298,546	300,536	296,449	310,424	279,606
	利用率(%)	60.8%	62.3%	61.0%	63.9%	76.0%	68.2%	61.7%	68.6%

航空会社別

(平成25年度)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ANA	旅客数	67,268	76,081	42,981	36,408	42,378	39,612	45,424	37,574
	前年比(%)	97.3%	99.4%	62.9%	52.0%	53.1%	48.9%	57.4%	52.5%
	提供座席数	117,874	123,276	73,126	58,126	55,016	60,154	69,530	52,668
	利用率(%)	57.1%	61.7%	58.8%	62.6%	77.0%	65.9%	65.3%	71.3%
SKY	旅客数	120,314	123,646	116,758	124,782	151,522	127,091	116,783	122,451
	前年比(%)	98.8%	99.8%	107.2%	97.5%	99.9%	87.3%	83.3%	91.2%
	提供座席数	190,452	197,532	190,275	196,824	197,532	189,567	193,638	179,478
	利用率(%)	63.2%	62.6%	61.4%	63.4%	76.7%	67.0%	60.3%	68.2%
SNA	旅客数	-	-	16,422	17,766	20,905	21,895	16,310	18,743
	前年比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
	提供座席数	-	-	27,000	27,972	32,364	31,320	30,624	30,972
	利用率(%)	-	-	60.8%	63.5%	64.6%	69.9%	53.3%	60.5%
ADO	旅客数	-	-	4,124	11,848	13,750	13,686	12,871	13,050
	前年比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
	提供座席数	-	-	5,040	15,624	15,624	15,408	16,632	16,488
	利用率(%)	-	-	81.8%	75.8%	88.0%	88.8%	77.4%	79.1%
合計	旅客数	187,582	199,727	180,285	190,804	228,555	202,284	191,388	191,818
	前年比(%)	98.3%	99.6%	101.7%	96.3%	98.7%	89.3%	87.3%	93.2%
	提供座席数	308,326	320,808	295,441	298,546	300,536	296,449	310,424	279,606
	利用率(%)	60.8%	62.3%	61.0%	63.9%	76.0%	68.2%	61.7%	68.6%

HAC、釧路—函館線、運航再開見直しは難しい

北海道エアシステムの田村千裕社長は9日釧路新聞社を訪れ、運航再開が期待される釧路—函館線について、機材繰りなどを理由に「今の状況では難しい」との認識を示した。

一方、2016年3月に函館まで延伸する計画の北海道新幹線について「開業で人の流れが変わる可能性がある。その際には、どこにどうとは決まっていないが、今の路線を見直す機会になる」と話した。

(釧路新聞) 12/11

<http://www.news-kushiro.jp/news/20131210/201312102.html> (-> <http://www.news-kushiro.jp/news/20131210/201312102.html>)

日航、安全啓発センターを移転

日本航空は10日、1985年8月に墜落したジャンボ機の残骸などを展示する研修施設「安全啓発センター」を移転・改装し、再オープンした。施設面積を千平方メートルと以前より2割広げた。現在の社員の9割は事故後の入社。乗客・乗員520人が犠牲になった悲劇の反省を「安全運航に生かす努力を続ける」(同社広報部)としている。

(日経) 12/10

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDG0905P_Q3A211C1CC0000/ (-> http://www.nikkei.com/article/DGXNASDG0905P_Q3A211C1CC0000/)

大韓航空、青森—仁川線、年間利用者数、3万院を割り込む見通し、搭乗率59.3%

大韓航空が運航する青森—ソウル便の今年の年間利用者数が東日本大震災の影響などで伸び悩んだ2012年を下回り、3万人を割り込む見通しであることが10日、分かった。背景には日韓問題と東電福島第一原発の汚染水問題などで訪韓、訪日共に伸び悩んでいると思われる。読売新聞が報じた。

県交通政策課によると、同便の利用者数は1～11月で計2万6203人、搭乗率は59.3%。月単位で見ると、9月は1547人(搭乗率38.7%)、10月は2312人(同52.1%)、11月は1557人(同43.4%)と低迷している。12月の定員座席数は3686席(見込み)で、仮に満席になったとしても年間利用者数は3万人に届かず、12年の3万2590人をさらに下回る水準だ。利用者数は日本人が前年比で5000人以上減少するとみられ、外国人は前年比で1000人以上増えるものの、9月以降は利用者が落ち込んでいる。

県や関係団体は県経済を活性化させるうえでソウル便を重要な路線と位置づけており、空港の駐車場料金引き下げやパスポート取得費用の補助など対策を次々と打ち出しているが、十分な効果は上がっていない。

三村知事らは11日から訪韓し、韓国観光公社や大韓航空の幹部らと面会し、連携強化を要請する方針だ。

(読売新聞) 12/11

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/aomori/news/20131210-OYT8T01573.htm> (-> <http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/aomori/news/20131210-OYT8T01573.htm>)

ボーイング787関連: ポーランド航空、ボーイング社の補償で合意

(bloombergによると)

ポーランド航空は、同社が保有する米ボーイングの最新鋭旅客機「787」(ドリームライナー)の運航停止に関する補償をボーイングから受けることで合意した。

ポーランド航空の広報担当、バーバラ・ピヤノフスカラス氏が発表した。詳細については明らかにしなかった。カルピンスキ国有財産相は6月、ポーランド航空がボーイングから1億ズロチ(約34億円)強を受け取る見込みだと述べていた。

(bloomberg) 12/10

<http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MXL3F96S973L01.html> (-> <http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MXL3F96S973L01.html>)

アメリカン航空グループ、ナスダック市場に上場、巨大ネットワークを武器に法人顧客獲得を目指す

米航空大手アメリカン航空とUSエアウェイズが合併し、世界最大の航空会社「アメリカン航空グループ」が9日発足した。新会社は株式をナスダック市場に上場した。

ロイターによると、USエアの元社長で新生アメリカン航空の社長に就任したスコット・カービー氏は、世界に広がる同社のネットワークを武器に法人顧客のさらなる獲得を目指す方針を明らかにした。

一般旅行者の3倍の代金を払う法人顧客は航空会社にとって収益の大きい客層だ。

カービー社長は、新生アメリカン航空が新たな法人顧客の獲得を期待でき、デルタ航空 など競合他社に対抗できる場として、国際線とビジネス客向けの国内チャトル便を提供しているニューヨークは最適な例だと指摘。合併によって旧アメリカン航空の国際線ネットワークとUSエアのチャトル便サービスが組み合わせられ、「デルタ航空やユナイテッド航空と同等の条件で法人顧客の獲得を争うことになる」と述べた。

2012年のデータに基づくと、新生アメリカン航空の年間売上高は約390億ドルとされる。

新生アメリカン航空は、世界56カ国336都市・地域へ毎日6700便を運航する。

(日経)12/10

http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM1000S_Q3A211C1EB2000/ (->

http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM1000S_Q3A211C1EB2000/)

(ロイター)12/10

<http://jp.reuters.com/article/companyNews/idJPL3N0JO4KF20131210> (->

<http://jp.reuters.com/article/companyNews/idJPL3N0JO4KF20131210>)

(bloomberg)12/10

<http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MXKT596JTSGQ01.html> (-> <http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MXKT596JTSGQ01.html>)